

令和8年度 学校評価

「重点目標」

学 校 教 育 目 標	中 ・ 長 期 的 目 標
教育活動をとおして個人の尊厳と協調の精神を体得させ、民主的な国家社会の形成者たる資質を培うとともに、自身の所属する学科での学びに他科の学びを融合させて、「未来を創る力」と「新たな価値を創造する力」をもつ有為な人材を育てる。	・地域や社会に目を向け、地域と連携しながら自ら課題を発見し、解決する力を育てる。 ・グローバルな視野で、多様な観点から批判的に考察する力を育てる。 ・知識と技術を活かし、自らの可能性と未来を切り拓ひらく力、より大きな夢に挑戦する力を育てる。
今年度の重点目標	
・自ら問いを立て、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育てる。 ・地域社会との連携や協働による活動をおし、探究的な学びを推進する。 ・学習活動や様々な行事等へのICTの積極的活用、および知見の共有を推進する。 ・基本的生活習慣の確立および、挨拶・身だしなみの徹底を図る。 ・生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめ・体罰等のない、安心安全な学校をつくる。	

部	担当	今年度の重点目標	具体的な方策
進路部	探究	1 見出す力、考察する力、協働する力、挑戦する力の周知と育成	・4つの力を意識つけた活動を計画・実施し、生徒や職員への周知を図る。 ・身につけたい力についての振り返りを活動・学期ごとに行う。
		2 学科や学年、地域と連携した活動の実施	・学科や学年合同の報告会やグループワークなどを計画・実施する。 ・地域の方々や対話し協働できる講座やフィールドワークを計画・実施する。 ・職員全体で生徒の主体的な活動をうながし、活動の伴走をする体制づくりを継続して行っていく。
	地域共創	持続可能な共学共創体制の確立	・地域連携を通じて生徒の学びの深化を図る。 ・コーディネータと教員の連携が円滑に行えるようにする。 ・小諸共学共創コンソーシアムの体制づくりを行う。
	進路指導	基礎学力の定着と進路指導の充実	・家庭学習の習慣化のための実態調査や週末課題等の実施。 ・進路・学習支援システム(スタディサプリ、グロースナビ)の有効活用。 ・就職および入試状況に関する最新情報を生徒・保護者に提供する。 ・生徒が自ら考えられる進路行事を企画する。
生徒部	生徒指導	1 自律と生活習慣の確立	(1)「自己指導能力の育成」と「ルールメイキング」 あいさつ、通学マナー、TPOに合わせた身だしなみの共通理解と指導・支援。 (2)「SNSの適正利用」 特にスマートフォンについて、ルールやマナー、使い方を生徒が主体的にコントロールできるよう指導。
		2 安心安全な環境の維持	(1)「人権教育や法教育の充実」 いじめや体罰のない安心安全な学校を生徒と共に創り上げる意識を全校規模で徹底。 (2)「迅速な組織的対応」 いじめや問題行動に対する組織的的確な対応。粘り強い支援と毅然とした指導。
	生徒会	生徒会活動の充実	・生徒会活動の意義と各委員会の役割を理解し、自覚と責任をもって活動する。 ・主体性、協調性を持ち、積極的に活動する。 ・生徒会活動を通じた人間形成、集団づくりをする。
	教育相談	いじめ・悩みを抱えた生徒及び特性を持つ生徒の把握と適切な対応・支援	・アセス、いじめ悩みアンケートの実施 ・学年、学級担任、保健室との連携 ・SC、SSW、巡回支援指導員の活用 ・入学時教育相談調査票の実施と活用 ・支援会議の計画・実施 ・支援に必要な情報提供
	保健	1 健康管理能力の育成	・健診や健康相談等を通じ、自己の健康課題を把握し自ら改善できるよう支援する。 ・専門家による保健講話を実施し、適切な意思決定や行動選択への変容を促す。
		2 安心・安全な学校環境の構築	・生徒の心身の変化を的確に捉え、人権に配慮した対応と迅速な組織的連携を推進する。 ・配慮を要する生徒の状態を的確に把握し、事故や急変の防止とともに緊急時に全職員が迅速に対応できる体制を整える。
教務部	教務	授業の充実	・年間を通じてのバランスある授業時間の確保。 ・主体的、協働的な取り組みを進める時間割の編成。 ・探究的な学びを推進するための教育課程の研究。

広報・渉外部	ICT広報	学校・生徒の魅力を伝える情報発信	・ホームページ作成及び更新、管理 ・外部への広報活動全般 ・生徒募集に関わるマーケティング活動 ・体験入学の運営
	図書メディア	「学習センター」、「情報センター」、「読書センター」としての機能強化と利用促進を図る	・メディアセンター利用の促進を図る ・図書委員の指導 ・蔵書の配分比率に即して本を収集する ・広報活動を積極的に行う ・他校との交流を図る
	PTA同窓会	PTA活動の充実 学校や生徒のニーズに合った同窓会活動の計画・実施	・総会、学年・学級PTAへの参加呼びかけ ・「PTA会報」の内容充実 ・学校行事への参加呼びかけ ・学校、生徒の要望をとらえ、同窓会として応えられることを行っていく

学年	今年度の重点目標		具体的な方策
一学年		・自分の夢について一生懸命考え、その実現に向け努力することができる人物を育成する。	・基本的な生活習慣と学習習慣の定着させる。 ・整理整頓や時間を守ることの大切さを、あらゆる場面をとらえて指導する。 ・授業を大切にすることを基本としながら、家庭学習を習慣化させる。
		・より良い未来社会を創造するため、失敗を恐れずに挑戦することを楽しめる人財を育成する。	・新たなことに挑戦する意欲を育む指導を心掛ける。 ・日々探究する姿勢や態度を養う。
		・多様な価値観を受け入れ、自分と他者を大切にし、協働することができる力を養成する。	・挨拶にはじまる良好な人間関係の構築をめざす。 ・思いやりのある行動、お互いを認め合う心を涵養する。
二学年		基本的な生活習慣を確立し、小諸義塾高校の良き伝統を創る。	・新しい日課に慣れ、自分で考えて行動するように促す。 ・身だしなみは自分だけのためのものではなく、周囲の人への配慮である事を繰り返し伝え、学習の場にふさわしい姿を考えるよう指導する。 ・地域の人の信頼を得られる学校になるにはどうすべきか、自分の行動だけでなく、学校全体を考えられるように促す。
		生徒一人ひとりの興味関心を伸ばし、希望進路実現に向けた行動を始める。	・引き続き日々の授業に集中して取り組めるように、学習環境を整える。 ・興味関心のある分野について追及できる探究活動を実施する。 ・進路行事を通して自分の進路や将来を真剣に考え、希望の進路に向けて行動するよう促す。
		人権尊重の姿勢を育み、平和の大切さを学ぶ	・いじめ悩みアンケートや日々の生徒の様子から、問題の早期発見・解決をする。 ・沖縄への修学旅行や事前学習を通じて、平和の大切さについて学ぶ。 ・修学旅行等の集団行動を通じ、お互いを尊重し、仲間と協働して合意形成ができるようにする。
三学年	1	基本的な生活習慣の確立と学年理念「整えよう！ 体(てい)・場(ば)・心(しん)」の実践による社会人基礎力の育成	・3学年理念『整えよう！【体(てい):準備・体調】【場(ば):環境・姿勢】【心(しん):意識・目的】に基づき、時間厳守・身だしなみの徹底・環境整美を自律的に行う姿勢を養う。 ・LHRや学年集会を通じ、公私の区別をつけた行動や、他者の人権を尊重する態度を深化させ、安心安全な集団づくりを推進する。
	2	自ら問いを立て、主体的・協働的に課題を解決する探究的な学びの推進	・自身の学科の専門知に他科の視点を融合させ、地域社会と連携した探究活動の集大成に取り組む。 ・授業や行事、販売実習等においてICTを積極的に活用し、知見の共有や他者と協働して新たな価値を創造する力を養う。
	3	ライフプランの具体化とグローバルな視野を持った進路実現への挑戦	・進路ガイダンスや外部講師による講演会を有効に活用し、多角的な視点から自らの可能性を考察させる。 ・一人ひとりのキャリアプランに応じた個別支援を強化し、主体的に課題を克服しながら、より大きな夢や目標に挑戦する力を支援する。